

ハウレーカ!

なるほど、そうか

第36回

資格と連動する英国の給与制度

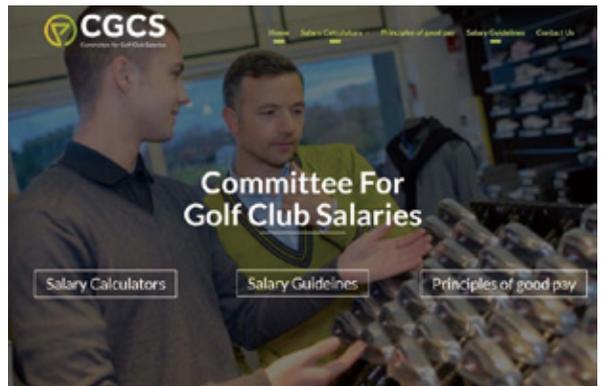
— 賃上げ勧告や年収、労働条件など業界標準がある —
喜田任紀



前号で英国のコース管理者の育成制度を調べていると、2024年のゴルフ場支配人とアシスタントキーパーの昇給率が発表されていました。ン？英国では、給与を何%引き上げようとか待遇に関してコミットメントする団体あるんだ。どんな団体だ？と思いますよね、調べました。給与勧告を出すなどの民間調停委員会の役割だけでなく様々なサポート事業もやっています。

CGCSという組織

給与勧告を出している組織はCGCS (Committee For Golf Club Salaries) という団体で、ゴルフクラブのスタッフとクラブ経営の利益を調整する組織です。組織を構成する主要団体は、グリーンキーパーの団体BIGGA (British & International Golf Greenkeepers Association) とゴルフ場支配人会GCMA (Golf Club Managers' Association) ですが、ゴルフ倶楽部の関係者などが委員会のメンバーを構成し



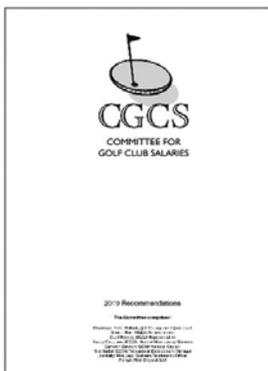
ています。PGAのプロの契約や報酬にもアドバイスをしています。

今年(2024年)の給与引き上げ率は、ゴルフ場スタッフの給与が7%、アシスタントグリーンキーパーの給与は9%引き上げるようにと勧告をしています。引き上げの理由は、インフレ率やゴルフ業界の好調を挙げられており、雇用主に給与の引き上げを求めています。絶対にこの勧告に従わなくてはいけない

わけではないのですが、当然、BIGGAやGCMAはこの勧告を支持するわけですから、概ねこの程度の賃上げが行われているのだと思います。なんかギルド的だと思ってしまうですが、排他的な組織ではなくギルドとは根本的に違うということのようです。

ところで、本誌に連載されていた故大塚和徳さんによると、古のゴルフ倶楽部であるジ・オナブル・カンパニーの創設にはフリーメイソンという石工のギルド組織が関与していたそうです。なんとなく、ギルドの血脈は脈々と受け継がれているということですかね。ま、これは英国の社会構造の話なんですよ。

さてです、民間の調停機関のような組織と紹介しましたが、賃上げに関する最近の活動を遡ってみると、2023年は引き上げ率の提示はなく、『委員会』は、ゴルフクラブの従業員はスポーツと個々の施設の健全性にとつて極めて重要であると強く



信じており、生活費の問題と施設の財政見通しを考慮して、可能な限り適切な昇給を与えるよう倶楽部に要請する』としていました。

関係者としては、ゴルフ場関係者として英国の給与水準が気になります、よね。給与に関する最初の会議は1997年に開かれたようですが、最近具体的な賃上げ率が明記されていませんでした。CGCSのホームページ (<https://golfclubsalaries.org.uk>) に上げられている給与ガイドラインは2019年版ですが、このガイドラインには経験や勤務年数、ゴルフ場の立地などから給与基準がまとめられています。ガイドラインは、クラブスタッフとアシスタントグリーンキーパーの2種類です。

グリーンキーパーは？と思われるますよね。同じホームページに給与計算機能が用意されており、クラブマネージャーの計算項目にグリーンキーパーという職種があり、グリーンキーパーと支配人は同格ということなんでしょう。

ガイドラインの内容に戻ります。クラブスタッフとアシスタントGKの2種類です。まずアシスタントGKの事例を紹介し

ます。詳しい内容はガイドラインで確認をしていただくとして、地域別に研修中、有資格者別、ゴルフ場の規模別、経験年数により基準とされる年収が書かれています。地域はロンドン地区、南西地区とその他に分けられています。給与が一番高いのはロンドン地区です。表にある最高年齢は21歳ですが、基本給（あくまでも目安として）は1万5713ポンドで、資格を取ると1万9933ポンドに引き上げられます。円安の現在のレートでは基準給が約300万円です。資格を得ると約380万円となる

わけです。その後は6カ月ごとに給与は高くなる仕組みになっています。あくまで推奨される内容です。36カ月以降は表記があるまじから、個別交渉なんですかね。他の地域との差は、南西地区は21歳が1万5746ポンド（資格を得ると1万9055ポンド）、その他の地域は1万5746ポンド（1万8103ポンド）です。

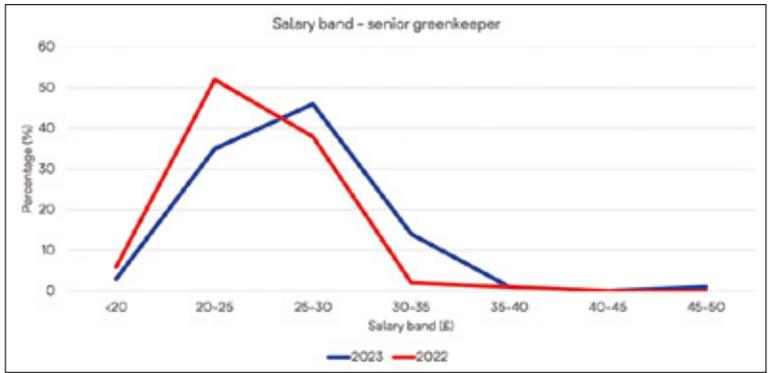
このコース管理スタッフの給与ですが、資格基準が細かく定められています。説明書きでは、ZSVCレベル2スポーツターの資格を得ると、ロンドン地区は2万8953〜3万9045ポンドに、同じレベル2でもスパーバイザーになると2万8953〜3万9045ポンドに、さらにマネージャー（ヘッドGK）になると3万9522〜5万9547ポンドの年収が得られることとなります（クラブマネージャーとしてグリーンキーパーのステップアップについては後述します。結構細かな資格要件が設けられています）。

グリーンキーパーの年収調査

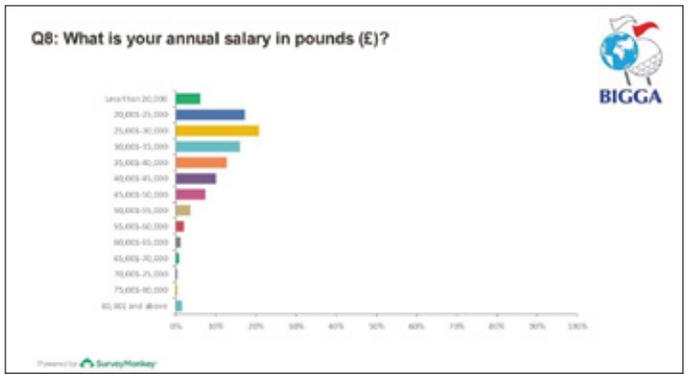
CGCSは給与勧告する上でグリーンキーパーの給与や労働環境について調査をしています。2023年の調査は現在集計中ですが、中間集計が発表されています（次頁グラフ参照）。シニアグリーンキーパーのデータですが、2023年の給与で最も多かった（最頻値）年収層は2万5000〜3万ポンドです。500万円前後のようです。23年は賃上げの勧告はなかったのですが、22年の最頻値は2万〜2万5000ポンドでしたからそれなりに賃上げがされていることが分かります。CGCSの勧告は有効に機能しているようです。グリーンキーパーの仕事上の環境についても少し紹介します。

2020年の調査結果をまとめたピクトグラムも載せました。これはBIGGAメンバーのグリーンキーパーの調査ですが、年収は3万7500ポンド（7

00万円強)で、勤続年数は平均で12年3カ月でした。その他の情報は、スタッフの人数は18ホール換算でフルタイムが5・5人+季節雇用が1人で、9%のゴルフコースで住宅が準備され、コースマネージャーの21%に車が提供されています。45%のグリーンキーパーが携帯電話



の通信費をクラブが負担し、朝／昼食が提供されているケースはたった15%だと指摘しています。インターネットに接続できるコース管理棟は65%、そしてBIGGAの会費をクラブで負担しているのは81%だそうです。中間集計の結果での22年との比較ではスタッフ人数は大きく変わっていないようです。コース管理棟などの施設では内容の



改善は進んでいるとしても、不足している設備は少なくないようです。ところで、前号でCADD (Continuing Professional Development、継続的専門教育) を紹介しました。今回紹介した2019給与勧告にあるグリーンキーパーのキャリアパターンを載せました。見習い／研修生を振り出しに、On/Off Job trainingを経験、BIGGAが委嘱したGTC (The Greenkeepers Training Committee) という専門機関での教育プログ

Salary Survey Outcomes

Earlier this year we asked BIGGA members to engage with our latest survey. With nearly 1,000 responses, the results of the survey will go a long way as we seek to learn more about the state of the turf maintenance industry and put pressure on major industry bodies to improve working standards. Thank you to everyone who completed the survey.

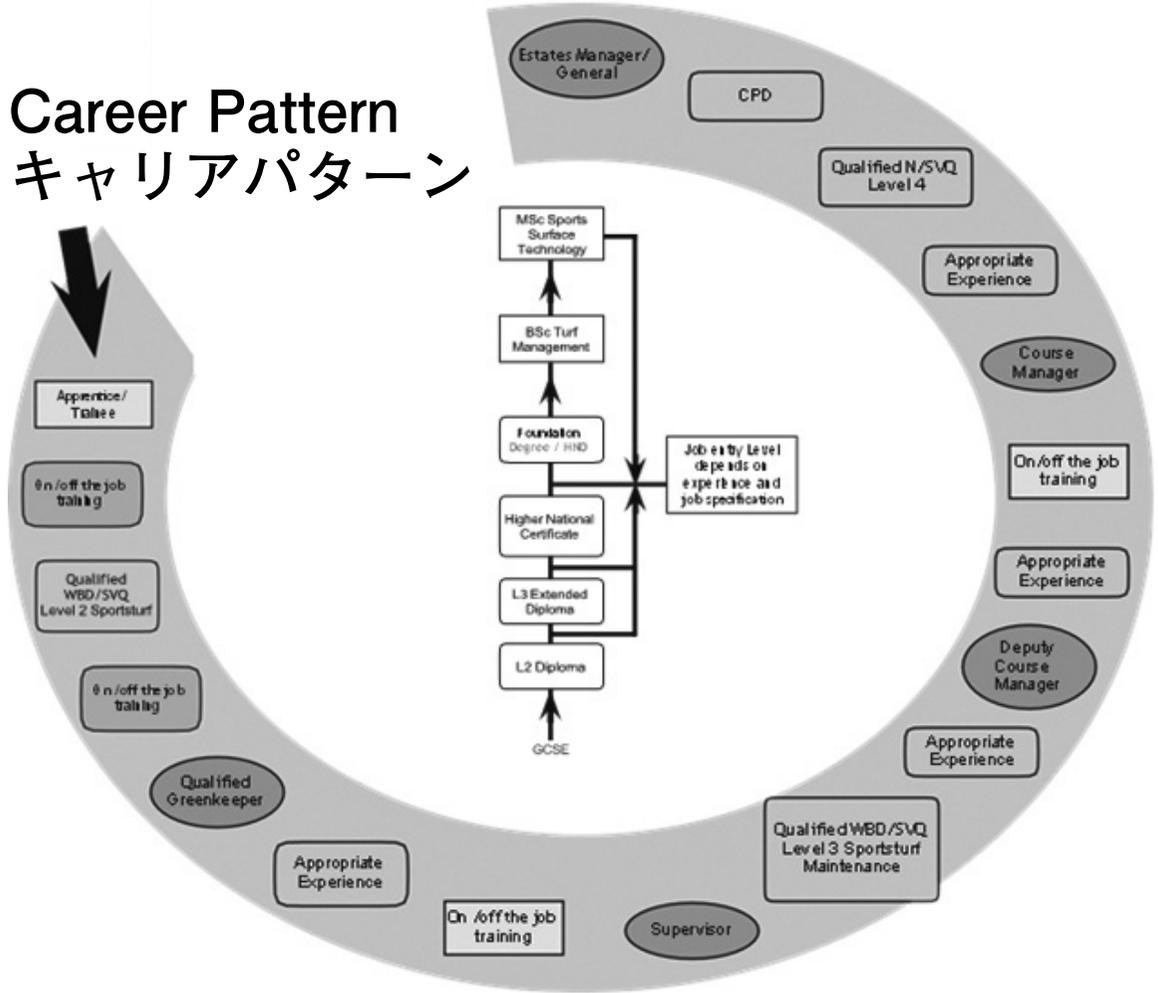
What did we learn?

- 1. To provide a more understanding of the real situation of the greenkeeper level.
 - How do rates vary from club to club? What are the key drivers – geographic, scale of clubs, turnover, green fee?
 - What qualifications do our members have?
 - How many staff do clubs have?
 - What facilities do clubs provide?
 - What terms and conditions are normal?
- 2. To give us benchmarking data that we can work with year on year – naturally we hope to see improvements as we work to drive standards.
 - 47% have a mobile phone paid for by the club
 - 91% of clubs provide accommodation
 - Only 10% of clubs provide breakfast and/or lunch
 - 50% of clubs provide tea/coffee
 - 20% of clubs provide a vehicle to the course manager
- 3. To provide the independent Committee for Golf Club Tutors an up-to-date picture of the industry and provide a more robust set of guidelines for clubs to work with.
 - Only 65% of clubs have internet access at the greenkeeping lock-in
 - 91% of clubs are NOT providing a pension
 - 81% of clubs pay BIGGA membership
- 4. To assist the GTC with their strategy concerning greenkeeper education & for research.
 - 21% don't provide water-proof, protective footwear or training protection
 - 21% don't provide sun protection
 - 79% do provide insurers
 - 83% do provide security or a similar
 - 87% do provide polo shirts or similar

Further work is now underway to analyse these results and identify solutions to understand gaps which our members need to build a salary and data that will be a valuable tool for the industry.

ラムにそってキャリアを積んでいくわけです。・WBD/SVAレベル2スポーツターフ資格取得→On/Off Job training→有資格のグリーンキーパーの元でOn/Off Job trainingを経てスーパバイザーの資格を得る。これで給与がアップするわけです。・次はWBD/SVAレベル3スポーツターフの資格取得・副コースマネージャーに→On/Off Job training・コースマネージャー→On/Off

Career Pattern キャリアパターン



Job training
 ・ N / SVQ Level 4 資格取得
 ・ CPD
 ・ エステートマネージャー / ジェネラルマネージャー
 — とキャリアアップしていくわけです。キャリアアップとともに所得を含め待遇は良くなっています。
 さて、グリーンキーパーの資格認定があるのに支配人は？と思いませんか。
 英国では、GCMAが教育研修を行っています。CGCSのクラ

ブスタッフ用2019勧告の中には支配人に求められる知識や管理能力がまとめられています。給与勧告ですから当然基準となる給与ベースが書かれています。参考までにトップランクは36ホール以上の大型施設ですべての業務に責任を持つ総合監督者で9万1549ポンド（1700万円超）です。財務、ゴルフコース管理、クラブハウス運営、ゴルフ倶楽部運営の内の一つの業務だけを担当する場合は18ホールのケースで3万5220ポンド（700万円弱）です。
 日本はゴルフ場経営をめぐる環境は厳しさを増すわけで、必要なスタッフを確保するためには、給与や待遇面での整備が必要になるでしょう。
 参考・CGCSのガイドラインの入手先は、アシスタントグリーンキーパー（右）、クラブマネージャー（左）

